

調湿効果に優れた仕上材
しっくい・コテ押さえ

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

中塗り材

内外装仕上げ材

【中塗り材】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0704030
飛散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

【内外装仕上げ材】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305237
飛散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

しっくい・コテ押さえ

昨今ほど自然および居住空間の環境に対する思いがこれほど敏感に浸透した時期はなかったでしょう。室内に使用される壁材の材質にも人体に影響のない商品が多く採用されています。

その昔からある漆喰壁は環境に優しく、調湿作用も有効に働くということで、壁材メーカーの間でも昔ながらの漆喰壁が見直されております。

当社の漆喰壁「しっくい・コテ押さえ」の主原料は厳選された消石灰を使用し、さらに上質の粉角又と繊維・骨材を選定し、昔ながらの貝灰同様、調湿効果に優れ、日本の気候・風土に適した壁材であるといえます。また城、多くの寺社仏閣にみられるように上品で優雅なその風合いは日本人の心を打つ白い壁の王様といえます。

〔目 的〕

この施工マニュアルは「しっくい・コテ押さえ」の塗り工事に於ける品質の確保と低亀裂性および耐久性向上を追及するものです。

〔用 途〕

「しっくい・コテ押さえ」は厳選された消石灰を主材に高品質の粉角又や骨材を選定し、仕上がりと作業性を最重視してブレンドされた内外装材です。日本古来の気品と優雅さを持ち合わせた壁材となっております。

〔適 用 下 地〕

・中塗り土 ・石膏プラスター（ラスボード下地） ・モルタル ・コンクリート

〔使 用 材 料〕

① 「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」	3. 2 m ² (5 mm厚) /袋
25 kg /防湿紙袋入り	上水道水 約7ℓ
② 「しっくい・コテ押さえ」(内外装仕上材)	2.5 m ² (1 mm厚) /袋
20 kg /防湿紙袋入り	上水道水 約16ℓ
③ 「塗替えプラスター」	3. 3 m ² (1. 5 mm厚) /袋
3. 5 kg /PE袋	上水道水 約1. 8～2. 2ℓ
④ NICE ラテックス #45 高性能アクリル系共重合エマルジョン	
吸水調整、接着増強用	18 kg、4 kg、1 kg 缶

[施 工 工 程]

① 躯体確認

↓

② 下地処理

↓

③ 「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」または「塗替えプラスター」の練混ぜ

↓

④ 「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」または「塗替えプラスター」の塗り付け

↓

⑤ 「しっくい・コテ押さえ」（内外装仕上材）の塗り付け

[施 工 方 法]

施工時から最終の仕上げ工事までの平均気温が5℃～35℃の範囲内で施工して下さい。原則として、必ず中塗り材（「しっくい・コテ押さえ中塗り材」または「塗替えプラスター」）を施工してから、仕上げに「しっくい・コテ押さえ（内外装仕上材）」を施工して下さい。

○ 躯体確認

- 1) 下地となる素地（土壁・しっくい壁・モルタル・PBなど）を確認し、素地が脆弱な場合は取り除き、ごみ、埃、レイタンスや油分、サビなどの接着を阻害するものは清掃・除去を行って下さい。
- 2) 下地に欠損等がある場合は埋め戻し等、適切な補修を必ず行って下さい。

○ 下地処理

- 1) 吸水調整材塗布前に補修箇所があった場合、補修箇所が完全乾燥しているか確認し、補修箇所を含む全面にNICEラテックス#45の4～8倍液（NICEラテックス10に対して上水道水3～70で希釈）を噴霧器等で塗布して下さい。吸水が激しい場合は更に塗り

重ねて塗布し、完全乾燥させて下さい。（中塗り施工前日までに完全乾燥が望ましい。）

○中塗り材の練混ぜ

「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」の場合

- 1) 容器に「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」を投入し、上表の「使用材料」に記載している標準水量（7ℓ）を入れ、ハンドミキサー等で練混ぜ、適度な軟度に調整して使用して下さい。

※標準水量以上の上水道水で練混ぜると、亀裂の原因や浮き・剥がれの原因となりますのでご注意下さい。また一度練混ぜたモルタルは夏期1時間、冬期2時間以内に使い切り、練足しや練戻しを行わないで下さい。

「塗替えプラスター」の場合

- 1) 容器に標準水量の約8割（1.6ℓ）程度を入れ、塗替えプラスターを加えてダマにならないように良く練混ぜて下さい。
- 2) 20～30分程度練置きし、残りの2割（0.4ℓ）を加えて軟度調整を行って下さい。
- 3) 練混ぜには高速回転のハンドミキサー（600rpm以上）を使用し、水量は標準水量の範囲内を厳守して下さい。

○中塗り材の塗り付け

「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」の場合

- 1) 下地の表面を確認し、一度しごき塗りを行い、追っかけて所定の厚み約5mm程度まで塗り付けて下さい。縮り具合を見計らいコテ波を取って下さい。

「塗替えプラスター」の場合

- 1) 塗り厚に注意しながら、下地へ均一に塗り付けてください。アクやシミなどが浮き出てきた場合は、再度塗り重ね行って下さい。
- 2) 下地に目地がある場合は、予め目地部にファイバーテープを貼り、塗替えプラスターを固練りしたもので目地埋めを行って下さい。目地埋め後、ヤセを確認し余分な材料は掻きとり不陸を小さくしてから全面乾燥後、塗替えプラスターの塗布を行って下さい。

● 「しっくい・コテ押さえ」の練混ぜ

- 1) 容器に「しっくい・コテ押さえ」を投入し、上表の「使用材料」に記載している標準水量（16ℓ）を入れ、ハンドミキサー等で練混ぜ、適度な軟度に調整して使用して下さい。

※標準水量以上の上水道水で練混ぜると、亀裂の原因や浮き・剥がれの原因となりますのでご注意下さい。また一度練混ぜたモルタルは夏期1時間、冬期2時間以内に使い切り、練足しを行わないで下さい。

● 「しっくい・コテ押さえ」の塗り付け

- 1) 中塗り材の乾燥状態を確認し、「しっくい・コテ押さえ 中塗り材」の場合は半乾きまたは締まった状態で、「塗替えプラスター」の場合は完全乾燥後に、一度しごき塗りを行い、追っかけて2mm程度まで塗り付けて下さい。
- 2) タイミングを見計らいコテ波を取り、最後の仕上げは「プラスチック鏝」で3～4回程度、押さえ仕上げを行って下さい。

● 養生時の注意事項

1) 施工時の養生

- ①寒冷期には、暖かい日を選んで施工をする。やむを得ず気温が5℃以下の時に施工する場合は、適切な保温対策を講じる。夜間の気温低下による凍害の恐れがある場合は作業を早めに切り上げ、現場管理者との協議の上、十分な養生を行って下さい。
- ②夏期に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するためシート等で覆うなど適切な対策を講ずる。
- ③降雨・強風あるいは周辺のほかの作業により、塗り付け作業に支障をきたす恐れのある場合は、作業を中止する。

2) 施工後の養生

- ①塗り付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、通風・日光を避けるようシート掛け養生など、適切な乾燥防止策を講ずる。
- ②冬期は、早期に降雨・降雪に遭うと硬化不良等の恐れがあるので、シート掛け養生など、適切な防止策を講ずる。



[注意事項]

- 1) 本マニュアルに記載している製品は全て既調合品ですので他の材料を一切混入しないで下さい。



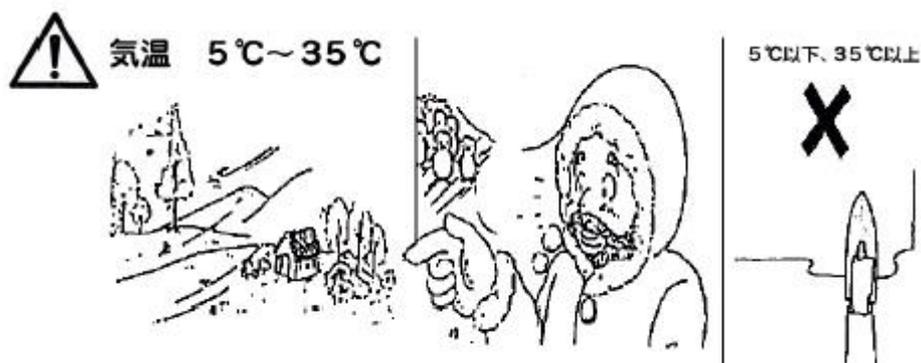
- 2) 練混ぜた材料は、練置時間として1時間以内が目安です。



- 3) 練足しは避けて下さい。



- 4) 気温が5℃以下、35℃以上になる恐れのある場合は、施工を避けて下さい。



使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。

1. 練混ぜた材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練足しや加水しての練戻しをしないで下さい。
2. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
3. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
4. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
5. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
6. コンクリートブロックに施工される場合は各営業店にご相談下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取り扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



ISO 9001

本 社 〒546-0003
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004

西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2020/05 第 5 版